

4. 評価「見取り」と「点検」

(1) 「見取り」と「点検」について

キャリア教育の評価には、児童生徒の成長や変容に関する評価と教育活動としてのキャリア教育全体の評価の視点が必要となります。

「見取り」⇒ 児童生徒の成長や変容に関する評価

各学校には、自校の目標及び培いたい資質、能力、態度、教育内容・方法等との関係から、児童生徒にどのような力が身に付いたか、その育成のための教育活動は効果的であったか、指導計画は適切であったかなど、多面的に評価することが求められます。

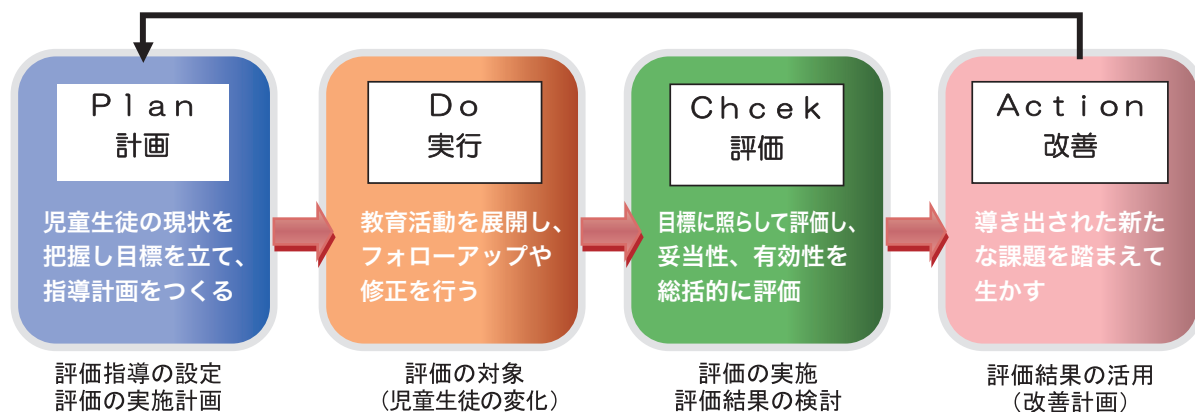
評価方法例 ポートフォリオ評価による児童生徒の変容の見取り
ICTを活用し、写真や動画で児童生徒の発言や
成果物を蓄積する。等

「点検」⇒ 児童生徒の成長や変容に関する評価

キャリア教育の実践をより効果的な活動とするためには、各学校における到達目標とそれを具体化した教育プログラムの評価の項目を定め、その項目に基づいた評価を適切に行い、具体的な教育活動の改善につなげていくことが重要です。その際、到達目標は、児童生徒の発達の段階やそれぞれの学校が育成しようとする資質、能力、態度との関係を踏まえて設定することが必要です。

評価方法例 全国学力・学習状況調査の該当項目での検査
学校評価(内部・外部) 等

評価から見たPDCAサイクル（評価実施のプロセス）



(2) キャリア教育の見取りと点検

子どもたちが必要な力を身に付けられたのかを把握すること、そして全校的な教育活動を把握することは、いずれもなくてはならないものです。次の取組を改善するためには「見取り」も「点検」もどちらも欠かせません。



評価（見取り、点検）のキは「目標・計画」にあります。「目標・計画」を具体的に立てることでそこに近づいたかどうか判断できます。

参考：文部科学省 国立教育施策研究所生徒指導・進路指導研究センター『子供たちの「見取り」と教育活動の「点検」』（平成27年3月）

(3) 学校活動・教育課程内での評価

様々な角度・方法で、「見取り」と「点検」を行うことが大切です。

「奈良市で育成したい4つの力」の評価について1（経年評価）

何を使って	何に注目して	何を評価 (どのような観点で)	いつ入手 できるか
4 全国学力・学習状況調査 質問紙調査	「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」 「友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか」	関わる力	7月
	「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」 「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」	活用する力	
	「将来の夢や目標を持っていますか」 「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」	挑戦する力	
	「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」 「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」	見通す力	
全国学力・学習状況調査 学力調査	B問題の正答率 等	活用する力	
生徒指導問題行動の報告数	年間の総合数	関わる力	毎月
生活実態調査	生徒の回答	4つの力	各学期毎
職場体験学習事前事後アンケート	生徒の意識変化	4つの力	終了後
各教科 (キャリア発達の 根拠資料としての評価)	例、保健体育科のグループでの跳び箱練習 ⇒以前から比べて「～」ができるようになったなどの資料となる。	(関わる力) 友達と協力する (活用する力) 上手な飛び方を真似る (挑戦する力) 根気強く努力する (見通す力) 練習計画を立てる	各教科の評価がキャリア発達を見定める重要な資料となります

「奈良市で育成したい4つの力」の評価について2

小中共通のアンケート項目を作成し、定期的の実施し、分析することで、児童生徒の変容を見取るとともに、今行っている事業の点検（改善）を行うことができます。

キャリア教育意識調査アンケート（中学生版）

_____ 学校 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 名前 _____

○次の質問に教えてください。

1、とてもそう思う 2、どちらかといえばそう思う 3、どちらかといえばそう思わない 4、そう思わない

関わる力	1. 「相手の気持ちを考えて話をするようにしている」	1	2	3	4
	2. 「自分とはちがう考え方もつ人のことを受け止めようとしている」	1	2	3	4
	3. 「意見はわかりやすく伝えるように気を付けている」	1	2	3	4
	4. 「ほかの人と一緒に何かをするときには、自分にできることは何かを考えて行動するようにしている」	1	2	3	4
	5. 「ほかの人と一緒に何かをするときには、周りの人と力を合わせようとしている」	1	2	3	4
	6. 「必要なときには、自分の意見をはっきり言うことができる」	1	2	3	4
活用する力	7. 「集めた情報をそのまますぐに信ずるのではなく、その情報が正しいかを確認しようとしている」	1	2	3	4
	8. 「問題の解決に必要な情報の集め方を知っている」	1	2	3	4
	9. 「集めた情報の中から必要な情報を選び、まとめることができる」	1	2	3	4
	10. 「調べたことや自分の考えを、自分の言葉で発信することができる」	1	2	3	4
挑戦する力	11. 「わからないことがあったときには、自分からすすんで情報を集めることができる」	1	2	3	4
	12. 「何か問題がおきたときには、なぜそうなったかを考えるようにしている」	1	2	3	4
	13. 「何か問題がおきたときには、どのようにしたらその問題が解決できるかを考えるようにしている」	1	2	3	4
	14. 「困ったことがあっても、前向きに考えるようにしている」	1	2	3	4
	15. 「何かに取り組むときには、進め方や考え方がまちがっていないか、ふり返って考えるようにしている」	1	2	3	4
見通す力	16. 「自分が何に興味や関心があるのかわかっている」	1	2	3	4
	17. 「勉強をすることの意味について自分なりの考えをもっている」	1	2	3	4
	18. 「仕事をするこゝの意味について自分なりの考えをもっている」	1	2	3	4
	19. 「世の中には、さまざまな働き方や生き方があることを理解している」	1	2	3	4
	20. 「職業や働き方を選ぶ際に、どのように情報を調べればよいかわかっている」	1	2	3	4
	21. 「将来の夢や目標が具体的にになっている」	1	2	3	4
	22. 「将来の夢や目標に向かって努力している」	1	2	3	4

その他 体験をとらして学んだことを自由に書いてください

ご協力ありがとうございました

※学期や単元の始めと終わりに実施し、内容を見取りましょう。
※小学生版（低学年・高学年）も教育委員会で作成しています。

(4) PDCAで見るキャリア教育推進状況チェックシート

学校の現状に近いと思う項目をチェックし、次の課題を見出していきましょう。

推進の方向性



計画

学校や児童生徒の現状を把握し、目標を立て、指導計画を作る。

目標の設定

キャリア教育の目標（キャリア教育を通して身に付けさせたい力や目指す子供の姿）については...

指導計画の作成

キャリア教育の指導計画（全体計画や年間指導計画）の作成については...

指導計画の活用

キャリア教育の指導計画の活用については...



実践

教育活動を展開し、フォローアップや修正を行う。

教育活動全体を通じた実践

教育活動全体を通じた取組については...

体験的なキャリア教育の実践

体験的なキャリア教育（社会人講話、職場見学、職場体験活動、インターンシップなど）については...

家庭や地域社会との連携

地域の教育力を生かしたキャリア教育の取組については...



評価

取組の目的に応じて、児童生徒の変化をとらえる。

子供の成長・変容の把握

キャリア教育を通じた児童生徒の変容や成長については...

実践の振り返りと検証

キャリア教育の取組に関する振り返りや評価については...

学校評価との関連

学校評価（自己評価・学校関係者評価）におけるキャリア教育の位置づけについては...



改善

導き出された新たな課題を踏まえて生かす。

指導計画の改善

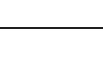
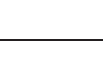
キャリア教育の指導計画の見直しについては...

校内研修の充実

キャリア教育に関する校内研修については...

校内組織の改善

キャリア教育に関わる校内組織の改善については...

	☐ 定めていない	☐ 定めているが、目標達成の検証が可能な具体的な文言にはなっていない	☐ 目標達成の検証が可能な具体的な文言を用いて定めているが、ここ数年見直していない	☐ 目標達成の検証が可能な具体的な文言を用いて定めており、児童生徒の実状などに応じて、数年ごとに見直している
	☐ 作成していない	☐ 指導計画は存在するが、教育委員会から提示されたモデルや、先進校の指導計画を引き写して作成した箇所が多い	☐ 学校や地域の特色や児童生徒の実態を踏まえて指導計画を作成するよう努めたが、具体的な内容にそれらが十分に反映されていない	☐ 児童生徒・保護者などの意識調査を活用したり、教員が相互に意見を出し合ったりして、学校の現状に即した系統的な実践ができる指導計画を作成している
	☐ 指導計画がないため、活用できていない	☐ 指導計画は存在するが、それに対する教員の認識や理解は十分ではない	☐ ほとんどの教員が指導計画の内容を把握しているが、活用は進んでいない	☐ 指導計画の内容は教員の共通認識となっており、有効に活用されている
	☐ 特に意識して取り組んでいない	☐ それぞれの教員が、できる範囲で取り組もうという意識はあるが、教員ごとの取組の差が大きい	☐ それぞれの教員が教科等を通したキャリア教育に取り組んでいるが、それらを関連付ける機会や方法が未整備である	☐ 教科等を通したキャリア教育は多様に実践されており、それらを相互に関連付けた取組も計画的に行われている
	☐ 計画的な実践はしていない	☐ 計画的に実践されているが、事前指導・事後指導などが十分にはなされていない	☐ 事前指導・事後指導などを含めて計画的に実践されているが、卒業までに身に付けさせたい力を踏まえた体系的な指導には至っていない	☐ 卒業までを見通した全体的な取組の中で、事前指導・事後指導を含めた体験的なキャリア教育の役割が明確となっており、異校種とのつながりも意識している
	☐ 特に意識して取り組んでいない	☐ 保護者や地域の事業所などと連携・協力して体験的なキャリア教育に取り組んでいるが、その意図やねらいの共通理解が十分に得ているわけではない	☐ 保護者や地域の事業所などと連携・協力して体験的なキャリア教育に取り組んでおり、体験の意図やねらいについての共通理解も得ている	☐ 保護者や地域の事業所などと連携・協力して体験的なキャリア教育に取り組む、学校のキャリア教育全般についての理解と協力も得ている
	☐ 特に意識して把握していない	☐ それぞれの教員が、学校生活を通して把握するようにしているが、教員間でその結果は共有されていない	☐ 保学校生活を通した把握の他に、意識調査などの資料はあるが、キャリア教育の視点からそれらを考察・分析はしていない	☐ 学校生活を通した把握と合わせて、身に付けさせたい力の視点から意識調査などを実施し、結果については経年変化などの分析も加えて、教員間で共有している
	☐ 特に意識して振り返りをしていない	☐ 年度当初計画した取組が円滑に実施できたかどうかという点についての振り返りは行っている	☐ 取組の円滑な実施という観点の他に、年度末などに全般的な取組の成果や課題について教員間で意見交換を行っている	☐ 取組の円滑な実施や全般的な成果・課題という観点の他に、特に重要な取組については、児童生徒の意識調査や自己評価などにより検証している
	☐ 学校評価にキャリア教育に関する評価項目が含まれていない	☐ 学校評価にキャリア教育に関する評価項目は含まれているが、その結果を十分に認知していない教員が多い	☐ 学校評価にキャリア教育に関する評価項目が含まれており、結果は職員会議等で示されているが、その考察・分析はしていない	☐ 学校評価にキャリア教育に関する評価項目が含まれており、結果については、経年変化などの分析も加えて、教員間で共有している
	☐ ここ数年見直していない（指導計画は作成していない）	☐ 毎年度、教育の負担や予算などの観点から、取組の見直しを行っている	☐ 毎年度、教員の負担や予算などの観点の他に、キャリア教育を通した児童生徒の成長や変容を踏まえ、取組や指導の在り方の見直しを行っている	☐ 毎年度、キャリア教育を通した児童生徒の成長や変容を踏まえて取組や指導の在り方の見直しを行い、必要に応じてキャリア教育の目標にも検討を加えている
	☐ 特に実施していない	☐ キャリア教育の概念や基本的な実践方針などについての理解を深めるための研修を実施している	☐ キャリア教育を通した児童生徒の成長や変容を踏まえ、具体的な取組の改善に向けた研修を実施している	☐ キャリア教育を通した児童生徒の成長や変容を踏まえ、具体的な取組の改善と異校種との連携の強化に向けた研修を実施している
	☐ ここ数年見直していない	☐ 定期的に見直しているが、個々の教員の負担軽減などを主眼とした構成メンバーの交替が中心となっている	☐ 定期的に見直しているが、校務分掌の適正化などを主眼とした組織改編と構成メンバーの交替が中心となっている	☐ キャリア教育を通した児童生徒の成長や変容を踏まえ、取り組むべき課題を特定し、それに即して校内組織や構成メンバーを定期的に見直している